

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サンスマイル ジョブトレーニング		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者のメインが中高生になるので、進路先や社会自立に役立つ基本的な知識や技術を身につける社会生活能力向上のための療育活動が中心。	お出掛け体験や自分たちでお出掛け先の計画を立てるなど、自発的に行動する為の活動を多く取り入れている。	保護者様や利用者の声を活動へ取り入れて、新しい知見や体験を増やしていく。
2	就労先の施設見学や体験、公共交通機関を利用した外出活動を行っている。	将来自立して自己実現を図っていく中で、外部の施設見学や体験を通して自分の進路に興味を持つ機会を作っている。	就労先や進路先などに加えて、社会性を感じられる機会を増やしていく。
3	自己表現力・集団での協働活動での「音楽療法」や「修了式」に力を入れている。	利用者が中心となり、自分たちで計画や担当を決めて表現する機会を設けている。	同法人の他教室の放デイや保護者様、外部の方を招き、交流する機会を設けていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動できる場所や体を動かせる範囲が多くない。運動のニーズに応えられない。	運動する空間がない分、座ってできる活動や療育を充実させていく必要がある。	公園へのお出掛けや土曜日や長期休暇中の活動内容に運動系の活動を組み込んでいく。
2	保護者様や外部の方と交流する機会を積極的に開催することが出来ない	定期的に保護者会や活動内容で外部の方などと交流できる機会を設けていく。	事前にアンケート等でニーズを把握し、外部の方と交流できる機会を増やしていく。
3	学年が上がるにつれて、下校時間も遅くなるため利用時間が限られてくる。	下校時間を変更することはできない為、利用時間内で満足度や充実感を味わえる活動を計画的に取り入れる。	保護者様のニーズや利用者の声を聞いて、活動内容へ取り入れていく。